



日本防災士会 岩手県支部

第15回通常総会議案書・資料

令和5年6月24日 (サンセール盛岡)

次 第

1. 開会 13:00~15:00
2. 支部長あいさつ P1
3. 議長選出
4. 議題
 - (1) 第1号議案(報告) 令和4年度事業報告 P2~P8
 - (2) 第2号議案(報告) 令和4年度収支報告及び会計監査報告 P9~P10
 - (3) 第3号議案(審議) 令和5年度事業計画(案)について P11~P13
 - (4) 第4号議案(審議) 令和5年度収支予算(案)について P14
 - (5) 役員改選(報告) P15
 - (6) その他
5. 議長解任・閉会
6. 特別講話 15:00~16:00
「日本海溝北部の地震での津波」対策~防災士として知っておくべき課題
講師 岩手大学名誉教授 齋藤徳美 先生
.....以下、任意参加.....
7. 地域の防災力アップビデオ視聴 45分 16:10~17:00 「西日本豪雨逃げ遅れゼロ」
8. 懇親会 17:00~19:00

【支部長挨拶】

日本防災士会岩手県支部会員の皆様、防災活動にご協力を頂き心から感謝を申し上げます。

下火になりつつあるとはいえ、コロナウィルス感染はまだ収まりそうもありません。コロナを理由に何もしないと社会が崩壊してしまいます。災害はコロナ禍でも襲ってきます。地震や大雨による洪水やのり面崩壊が日本中で発生しています。私達が関わる岩手県支部12分会の地域は大丈夫でしょうか。私達防災士は、いつ襲ってくるかも知れない災害に備え、災害と防災を勉強しておかなければならないと考えます。

今年の主な活動を振り返ると、

- ① 昨年は大船渡市で行われた岩手県総合防災訓練の越喜来会場に、防災士会として一区画を頂き荒屋敷副支部長を講師に会場に参集した来場者にDIGを披露しました。タイミングよく達増知事一行が立ち寄りDIGが完了するまで見守って頂き、防災士会の存在をアピールできたと考えています。
- ② 神戸市「HAT 神戸」で行われた防災国体に当会からも複数の会員が参加し、防災国体の規模の違いや内容の違いを体感しながら公開討論会にも出席し、岩手県支部の存在をしっかりとアピールしてきました。
- ③ 事務局の立て直しに着手しました。
 - ・荒屋敷副支部長を中心に376名の会員名簿（会員名・郵便番号・住所・防災士番号等）の内容の確認や修正を行いました。
 - ・会議会場をアイーナやサンセールに限定せず、駐車場が広く利用料金が安く、会場の予約が簡単な盛岡市周辺の会場施設をセレクトし、使用登録し、一覧表にまとめました。
 - ・防災士会として本来整備すべき各種の書類（各種の届・交通費等の届等）を整備しています。
- ④ 理事会や役員会、3役会議をZoom会議で試行しました。岩手県は四国4県と同じ広さだと言われていますが、全県内から会議に招集する限界を感じていましたので、自宅にしながら会議が出来ることは時代にマッチした手段だと考えています。
- ⑤ Zoomによるパソコン研修を試行しました。方法等の反省事項はいくつかありますが、研修会もZoomで行うことが出来ることが分かり、理事会や役員会と同様に研修会もZoomを積極的に活用し、盛岡会場に来なくても会議や研修が出来る機会を広げていきたいと考えています。
- ⑥ 総会終了後に、新しいホームページ作成を検討しています。役員会の案内や会議内容、12分会の活動予定や活動報告がホームページを見れば分かるようにしたいと考えています。

目指すところは、会員のどなたが事務局を引き継いでも、会員名簿管理・12分会の防災活動予定や報告等、事務局の負担を減らし各分会等の情報共有が出来ることを目指したいと考えています。

今年度も積極的に頑張る分会を応援し、出来ることは他の分会に水平展開をしていくことを考えていますので、日本防災士会岩手県支部会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和 5年 6月 24日
日本防災士会 岩手県支部
支部長 清水上 裕

令和4年度日本防災士会岩手県支部事業報告

期間：4.10.1～5.6.24

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	備考
2022/6/26	役員会	・令和4年度通常総会の開催日9/4について ・県総合防災訓練の取組案 ・地区分会活動	アイーナ	役員	21	前年度報告済
2022/8/24	三役会	総会の中止に関わる協議 ・資料作成の役割分担 ・事業活動の報告依頼 ・その他	Zoom	担当の理事	4	前年度報告済
2022/10/29	県総合防災訓練	DIG講習	大船渡市	4+6+1名 見学者30名	30	他現地調査 2回
2022.10.16	第一回理事会	業務改善案の方針決定 ・会員管理の適正化 ・役位の協働化、定数見直、議員部会の体制下 ・スキルアップ研修実施 ・NPO法人化	サンセール	集合17名	17	
2022.10.16	第14回通常総会	・事業活動報告 ・決算報告 ・事業計画案、予算案 ・他	書面決議で開催	—	—	
2022/11/29	河北新報特集記事	武蔵野11/17、荒屋敷11/29	盛岡市	オンライン全6回掲載 他全面掲載1/11	3	
2022.12.11	第二回理事会	・その他活動状況報告 ・当面の活動計画 ・その他	Zoom、サンセール	集合14名 Zoom3名	17	
2023.1.13	三役会	・活動支援金請求 ・経済的な会議室借用案 ・予算執行状況の検証 ・その他	Zoom	支部長、副支部長、事務局	4	
2023.1.30	三役会	・議事録の作成 ・役員改正についての姿勢・Zoom接続結果報告	Zoom	支部長、副支部長、事務局	4	
2023.2.11	第一回役員会	・NPO法人の概要説明会 ・支部活動支援金の申請 ・Zoom分会長の調査結果 ・スキルアップ研修会 ・県総合防災訓練 ・その他	Zoom、アイーナ	集合4名 Zoom3名 委任状7名	14	
2023.2.12	会員スキルアップ研修	パソコン準備編	盛岡地区以外	会員5名、他2名	7	
2023.3.20	三役会	・意向把握について、他	Zoom	支部長、副支部長、事務局	4	

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	備考
2023.3.5	第二回役員会	第15回通常総会 役員改正について	Zoom、アイーナ	集合3名 Zoom5名	8	
2023.5.8	三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・自薦他薦の審議 ・退会者等の結果報告 ・局長会との役員連携 ・総会に向けての段取り 	Zoom	支部長、副支部長 事務局	4	
2023.5.17	三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員改正人事案 ・収支計画案 ・事業計画案 ・その他 	Zoom	支部長、副支部長 事務局	4	
2023.5.23	三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員改正承認 ・収支計画承認 ・事業計画承認 ・その他 	Zoom	支部長、副支部長 事務局	4	5/27役員会 に付議
2023.5.27	第三回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回通常総会の打合 ・役員改正案の審議 ・年度末監査 ・その他 	やはパーク	担当の理事	21	6/24総会に 付議
2023.6.11	会員スキル アップ研修	パソコン準備編	盛岡地区	会員2名	2	
2023.6.24	第15回 通常総会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動報告 ・決算報告 ・事業計画案、予算案 ・役員改正 ・特別講話、視聴 ・他 	サンセール盛岡			

令和4年度 日本防災士会岩手県支部事業報告

分会名 盛岡地区

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	担当名	備考
2022/6/15	県総合防災訓練	事前打合せ	盛岡市	主催者と越喜来の打合せ	2	荒屋敷武則	
2022/6/22	県央経営懇談会	経営懇談会委員	盛岡市	防災部門委員として提言	1	荒屋敷武則	
2022/6/28	桜城防災部会研修	NHK新ハザードマップ	桜城老人福祉センター	防災部員	10	中村義彦	
2022/7/5	県総合防災訓練	現地打合せ	大船渡市	新沼、荒屋敷	2	荒屋敷武則	
2022/7/6	ダム施設見学	築川ダム見学	築川ダム	盛岡市環境学習受講者	17	中村義彦	
2022/7/15	立花自治振興協議会	マイ・タイムライン	北上市	協議会役員、地区民、一般	63	荒屋敷武則	岩手県地域 防災サポーター
2022/9/19	紫波町防災訓練参加報告会	訓練に参加し経験した内容を住民と共有	紫波町中央公民館	自治会構成員(98世帯)	12	葛西清志	
2022/9/28	桜城防災部会研修	スマホで身を守る情報	桜城老人福祉センター	防災部員	10	中村義彦	
2022/10/2	敬老バス研修	四十四田ダムものしり館	四十四田ダム	敬老バス利用者	15	中村義彦	
2022/10/25	好摩小学校	洪水災害全般	盛岡市	5~6年生と教師5名	57	荒屋敷武則	岩手県地域 防災サポーター
2022/10/29	県総合防災訓練	DIG講習	大船渡市	4+6+1名 見学者30名	30	荒屋敷武則	
2022/10/30	減災体験学習会	応急処置/消火訓練	桜城老人福祉センター	第7分団地区町内会	30	中村義彦	
2022/11/3	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』①+【公開講座】	男女共同参画	プラザおでって	テーマに関心のある市民(公開)	13	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2022/11/16	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』②	女性支援、避難所運営	プラザおでって	テーマに関心のある市民	16	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2022/11/21	県央経営懇談会	経営懇談会委員	盛岡市	防災部門委員として提言	1	荒屋敷武則	
2022/11/26	防災訓練	心肺蘇生、消火器操作訓練他	紫波町中央公民館	自治会構成員(98世帯)	11	葛西清志	
2022/11/29	桜城防災懇談会	赤十字防災セミナー	桜城老人福祉センター	桜城自主防災関係者	22	中村義彦	
2022/11/29	河北新報特集記事	武蔵野11/17、荒屋敷11/29	盛岡市	オンライン全6回掲載	2	荒屋敷武則	
2022/12/3	大震災かまいし伝承者	伝承者に認定取得	釜石市	資格取得1名	1	荒屋敷武則	
2022/12/6	基礎研修会	地区防災計画の作成	オンライン学習	防災士メールマガジン読者	多数	中村義彦	

第1号議案

分会名 盛岡地区

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	担当名	備考
2022/12/7	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』③	マイ・タイム・ライン	プラザおでって	テーマに関心のある市民	11	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2022/12/7	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』④	洪水被害と避難	プラザおでって	テーマに関心のある市民	10	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2022/12/10	県サポーター	スキルアップセミナー	盛岡市	防災サポーター受講	1	荒屋敷武則	
2022/12/21	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』⑤	平時からの備えと避難時携行品	プラザおでって	テーマに関心のある市民	11	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2022/12/21	【連続講座】地域防災力を高める学習会『過去の災害を教訓にして参画の輪を広げよう!』⑥	HUGとクロスロードゲーム	プラザおでって	テーマに関心のある市民	9	立木浩子ほか もりおか女性センター職員	盛岡市、もりおか女性センター主催
2023/1/11	河北新報全面記事	1/11総集編10段1ページ	盛岡市	紙面特集号	1	荒屋敷武則	
2023/1/26	桜城防災部会研修	津波3Dマップ/無産機訓練	桜城老人福祉センター	防災部員	10	中村義彦	
2022/7/2 ～ 11.26	第1回～第17回 岩大まちづくり リーダー講座	防災・減災の講座、 視察、実験等	岩手大学工学部	まちづくりリーダー 育成受講者	20× 17回	中村義彦	

令和4年度日本防災士会岩手県支部事業報告

分会名 大船渡

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	担当	備考
2022/4/26	防災マップ作り①	ハザードマップの活用方法	県立高校（気仙管内）	高校生	10	新沼	大船渡市赤十字奉仕団
2022/5/13	災害時に活用できる物	なまずの学校	気仙小学校	5年生児童	11	佐藤健	
2022/5/17	防災マップ作り②	通学路の防災・減災	県立高校（気仙管内）	高校生	10	新沼	大船渡市赤十字奉仕団
2022/5/18	地域で起こりうる災害	ハザードマップの活用方法・対策	県立短期大学	大学生	100	新沼	岩手県地域防災サポー
2022/5/23	避難所運営	避難所運営ゲーム（HUG）	気仙小学校	6年生児童	8	佐藤健	
2022/6/9	家庭の防災対策	防災・減災対策の共有	大船渡Y.Sセンター	乳幼児の保護者	6	新沼	
2022/6/24	災害時の避難路	逃げ地図作成	気仙小学校	5・6年生児童	20	佐藤健	
2022/6/28	防災グッズ作り	作り方、活用方法	アバッセ高田	認知症を考える会	14	新沼	
2022/7/13	災害時の行動を考える	ぼうさいまちがいがし	気仙小学校	2年生児童	12	佐藤健	
2022/7/21	非常持ち出し袋を考える	かえるくんとうしくんのおとぼけ劇場	気仙小学校	1年生児童	7	佐藤健	
2022/7/25	防災研修	クロスロードゲーム	県立学校（気仙管内）	教職員	55	新沼	
2022/8/3	防災研修	津波災害の防災・減災対策	県立学校（気仙管内）	教職員	50	新沼	他団体のサポート
2022/8/18	防災グッズ作り	作り方、活用方法	おおふなぼーと	認知症家族の会	15	新沼	
2022/9/3	市立図書館イベント	講話	アバッセ高田パブリックスペース	図書館職員、申込者	10	武蔵野	
2022/9/8	家庭の防災対策	防災・減災対策の共有	大船渡Y.Sセンター	乳幼児の保護者	5	新沼	
2022/9/13	生き生き塾防災学習	講話 今すぐできる家庭の防災	JA江刺本店	江刺地区女性	50	武蔵野	
2022/9/15	家庭での備蓄を考える	ブタくんときつねくんのおとぼけ劇場	気仙小学校	2年生児童	11	佐藤健	
2022/9/20	きらりん防災	持ち出し品とホイッスルづくり	きらりんきっず	きらりんきっず利用者。スタッフ	12	武蔵野	
2022/9/28	防災学習	グッズ作り、防災・減災対策	中学校（気仙管内）	中学生	50	新沼	大船渡市赤十字奉仕団
2022/9/29	名古屋市交流事業	講話	名古屋市消防局	昭和区女性防火リーダー	30	武蔵野	
2022/9/30	消防庁伝承プロジェクト	伝承語り部	三郷市立高州東小学校	4～6年生 教職員	130	武蔵野	
2022/10/1	野活イベント	親子防災教室	岩手県立野外活動センター	小学生と家族	30	武蔵野	
2022/10/17	子育て世代の防災	マイ減災マップ	北上市北地区公民館	まんまるママ利用者	18	武蔵野	
2022/10/23	防災士として	震災体験など	学習グループ（気仙管内）	地域住民	12	新沼	
2022/10/29	岩手県防災訓練（炊き出し）	他団体との共同訓練	大船渡市保健センター	婦人防火クラブさんと共同	20	／	大船渡市赤十字奉仕団
2022/10/30	家庭の安全と備蓄	陸前高田市防災マイスター養成講座	陸前高田市コミュニティホール	養成講座受講者	20	武蔵野	
2022/10/30	防災グッズ作り	作り方・活用方法	地域コミュニティスペース	地域住民	20	新沼	
2022/11/10	家庭の防災対策	防災・減災対策の共有	大船渡Y.Sセンター	乳幼児の保護者	3	新沼	

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	担当	備考
2022/11/12	市脇ノ沢団地避難訓練	心肺蘇生	脇ノ沢団地	団地住民	60	武蔵野	
2022/11/16	トナリノ防災	身近に体験するエコラップ、パラコード	トナリノ	近隣住民	6	武蔵野	
2022/11/17	一中地域を考える授業成果発表	まち歩きをしてハザードマップを作る	一中体育館	一中2学年	66	武蔵野	
2022/11/19	SUG体験会	発災直後は地域の助け合い	市文化会館	分会研修	19	分会	
2022/11/22	津波避難のスイッチを押そう	津波避難シミュレーションゲーム	気仙小学校	3・4年生児童	14	佐藤健	
2022/11/22	きらりん防災防災	クロスロードゲーム体験会	きらりんきッズ	利用者・スタッフ	8	武蔵野	
2022/11/22	炊き出し調理体験	ポリ袋調理の方法	中学校（気仙管内）	中学生	50	新沼	大船渡市赤十字奉仕団
2022/11/24	津波避難のスイッチを押そう	津波避難シミュレーションゲーム	小友小学校	全児童と保護者	130	佐藤健 武蔵野	
2022/11/24	津波すごろく体験会	津波すごろく体験会	小友小学校	全校児童・保護者		佐藤健	
2022/11/25	防災学習	クロスロードゲーム	小学校（沿岸南部）	小学生・保護者	50	新沼	岩手県地域防災サポ-
2022/11/28	東日本大震災からの教訓	講演：災害に備える	名古屋市立菊井中学校	全校生徒	160	佐藤健	
2022/11/29	消防庁伝承プロジェクト	講話	徳島県藍住中学校	1学年・安全委員会	120	武蔵野	
2022/12/9	災害時の判断	クロスロードゲーム	気仙小学校・横田小学校	両校の6年生児童	16	佐藤健	
2022/12/14	家庭の防災対策	防災・減災対策の共有	保育施設（大船渡市）	乳幼児の保護者	5	新沼	
2022/12/15	防災研修	地域防災・津波対策	保育施設（沿岸北部）	保育施設管理者	25	新沼	岩手県地域防災サポ-
2022/12/18	国際交流協会クリスマス会	わかりやすい防災	キャピタルホテル1000	市在住外国人・協会	50	武蔵野	
2023/1/14	消防庁伝承プロジェクト	講話	大阪府和泉シティープラザ	和泉市民	80	武蔵野	
2023/1/20	親子体験学習	家庭教育学級	保育施設（大船渡市）	年長さん・保護者	60	新沼	
2023/1/24	消防庁伝承プロジェクト	講話	串本町役場	串本町民	120	武蔵野	
2023/2/2	防災研修	ハザードマップの見方	子育てサポート施設	スタッフ	6	新沼	
2023/2/8	消防庁伝承プロジェクト	沖縄県総合防災訓練 講話	ロイヤルホテル残波岬	読谷村民・観光従事者	80	武蔵野	
2023/2/12	災害ボランティア養成講座	ハザードマップの活用方法など	大船渡市保健センター	地域住民	10	新沼	
2023/2/19	親子防災研修	防災グッズ作り、防災・減災対策	学童保育施設（大船渡）	学童・保護者・先生	35	新沼	
2023/2/20	家庭の防災対策	防災・減災対策の共有	子育てサポート施設	乳幼児の保護者	6	新沼	
2023/3/5	防災クッキング	ポリ袋調理	おおふなぼーと	地域住民	5	新沼	
2023/3/7	家庭の防災対策	簡易トイレ・オムツ	子育てサポート施設	乳幼児の保護者	3	新沼	
2023/3/8	家庭の防災対策	ポリ袋調理など	子育てサポート施設	乳幼児の保護者	5	新沼	
2023/4/30	防災マルシェ	もちだしぶくろになにに入れる？	ワタミオーガニックランド	キャンプサイト利用者・市民	30	武蔵野	
2023/1/21～	防災企画展	インクルーシブ防災とは	おおふなぼーと	来館者	/	新沼	掲載資料作成

開催日	実施名	概要	開催場所	対象者	人数	担当名	記事
2022/5/20	二子町自主防災推進協議会総会	自主防災推進協議会総会に防災士として出席	二子町公民館	二子町自主防災推進協議会総会参加者	50	高橋利幸	
2022/6/17	二子町自主防災推進協議会防災研修会	自主防災推進協議会防災研修会に防災士として出席	二子町公民館	二子町自主防災推進協議会参加者	50	高橋利幸	
2022/6/19	自衛隊記念式典	岩手駐屯地創立65周年記念事業	陸上自衛隊岩手駐屯地	記念式典招待者		清水上 裕	
2022/6/29	FM岩手ラジオ収録	FM岩手の番組に出演し、「こども食堂+地域食堂+防災食堂=多機能・多目的食堂」について広報	FM岩手スタジオ	岩手県内FMラジオリスナー		清水上 裕	
2022/7/31	防災講演	3ちゃん防災	上鬼柳公民館	北上市上鬼柳自治会	30	清水上 裕	
2022/8/18	防災講演	高齢者の防災について学ぶ	翔南高校	岩手県立翔南高校3年生卒業研究班	10	清水上 裕	
2022/9/8	北上市総合防災訓練	防災対策、避難対策等の災害現場における防災関係機関の連携強化	黒岩小学校	30 機関・団体により 37 訓練		防災士会として見学：清水上 裕	
2022/9/23	交通・防災フェスタ	北上市主催の交通・防災フェスタに便乗し171を体験	パルJoyスタジオ	パル・イオンにきた買い物客	50	日本公衆電話会 北上分会員	
2022/10/14	防災講演	3ちゃん防災	上宿自治会館	ふれあいデイサービス	15	清水上 裕	
2022/10/22・23	防災国体in神戸	国内最大級の防災イベント	神戸市のHAT神戸	防災に関心のある住民		清水上 裕	
2022/11/7	防災講演	民生委員を対象とした防災講話	黒沢尻北地区交流センター	黒沢尻北地区民生委員協議会	20	清水上 裕	
2022/11/16	防災講演	3ちゃん防災	藤根2区自治会コミュニティセンター	地域役職者と語る会	30	清水上 裕	
2022/11/19	防災講演	3ちゃん防災	江釣子10区コミュニティセンター	ふれあいデイサービス	20	清水上 裕	
2022/12/17	防災リーダー研修会	北上市で行っている防災リーダー研修を希望し受講	北上市消防本部	北上市内自主防災組織所 属者・災害発生時に地域で活動できる住民	30	清水上 裕	
2023/2/3	北上市自主防災マイスター講習	北上市で行っている自主防災マイスター講習を希望し受講	北上市消防本部	北上市内自主防災組織所 属者・災害発生時に地域で活動できる住民	30	清水上 裕	
2023/3/11	北上市防災会議	北上市地域防災資料修正審議	書面会議	北上市防災会議委員		清水上 裕	

令和 4 年度 収支報告

第2号議案

自：令和 4 年 4 月 1 日 至：令和 5 年 3 月 31 日

○ 収入の部

単位：円

項目	令和 4 年度予算額 (1)	令和 4 年度決算額 (2)	差額 (2-1)	備考
繰越金	1,269,750	1,269,750	0	
年会費	710,000	692,000	-18,000	
協賛金	0	0	0	
総会・懇親会費	0	0	0	
活動協力金等	160,000	168,000	8,000	本部、東北から
各種事業参加料	0	0	0	
補助金等	0	0	0	
利息			0	
寄付金	0	0	0	
雑収入		61	61	
合計	2,139,750	2,129,811	-9,939	

※1 支部年会費は、一般会員2,000円、準会員1,000円、賛助会員は一口5,000円以上。

※2 本部年会費の5,000円は含まず。

○ 支出の部

単位：円

項目	令和 4 年度予算額 (1)	令和 4 年度決算額 (2)	差額 (2-1)	備考
総会費	100,000	11,326	-88,674	
総会・懇親会	0	8,805	8,805	
講師謝礼	0	2,521	2,521	
資料印刷代	100,000	0	-100,000	
広報活動	105,960	105,960	0	
通信費	100,000	69,483	-30,517	
支部会報	0	0	0	
通信	100,000	69,483	-30,517	
学習会・講演会	150,000	0	-150,000	
消耗品	50,000	52,285	2,285	
備品費	0	288,239	288,239	
事業費	1,200,000	130,164	-1,069,836	12分会への実費額
事務局運営費	400,440	163,090	-237,350	
事務局手当	0	0	0	
旅費交通費	400,000	158,100	-241,900	
支払手数料	440	4,990	4,550	
会議費	0	234,126	234,126	
負担金	0	0	0	
予備費	33,350	0	-33,350	
合計	2,139,750	1,054,673	-1,085,077	

収入の部	支出の部	次年度繰越金
2,129,811	1,054,673	1,075,138

日本防災士会 岩手県支部

支部長 清水上 裕 殿

監 査 報 告 書

令和 4 年度の業務執行状況及び会計帳簿並びに会計証拠書について監査した結果、業務執行は適切であり、会計帳簿は適法かつ正確に記帳されていると認めます。

令和 5 年 5 月 27 日

監事 氏名 館澤 忠弘

監事 氏名 菊池 俊丈

令和5年度事業計画(案)

■岩手県支部は、県内防災士の連携と減災活動の実践を目的として、平成21年7月25日に設立して今年で15年目と言う節目にあたります。

以来、防災学習会・研修会などの活動を実施し、会員のスキルアップ等に務め、日本防災士会東北支部連絡協議会をはじめ東北各防災士会との連携に努めてまいりました。

■この間、さまざまな災害が起き大きな被害が発生しました。

東日本大震災の復興も12年目となり、私達を取り巻く環境が変化し、求められる期待像も多様化してきており、防災士、および防災士会も地域に貢献できる体制に変革していくことが必要になってきております。

■現在の「任意団体」から「NPO法人」として社会に認められる法人格の取得を目指し、防災士の地域での防災講話や防災学習、そして防災機関との連携した支援活動を目指してまいります。

■ここ数年は新型コロナウイルス感染防止対策のため自粛も余儀なくされていましたが「新しい感染対策」により事業を展開していきたいと考えています。

■今後もこれらの活動を深め、実践力を高めながら地域・行政・他団体等との連携を進め、支部の設立当初の原点に回帰し、将来に向かい更なる活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

1 インターネットを活用した活動の推進

- (1) 「ホームページ」を全面リニューアル。
- (2) 会員交流サイト、分会、個人の活動を「ホームページ」に掲載。
- (3) 会員間の連絡にメールを利用、会議はリモート環境を活用。

2 会員増に向けた活動

- (1) 新規入会会員、若い会員など次世代の防災士を育成。

3 適正な会員管理

- (1) 会員名簿の現行化による連絡体制の強化と情報の提供を推進。
- (2) 会費納入の適正化、役員就任の適正化を推進。

4 防災士の知見、技術向上に役立つ行事の企画

- (1) 会員の保有する得意技能等を活かした、リモート形式による会員相互のスキルアップ研修を実施。
- (2) 自主防災組織、地域防災、学校、会社、他への講師派遣。
- (3) 受託事業・補助事業・助成事業への取り組み。

令和5年度 日本防災士会岩手県支部事業計画 (案)

第3号議案

項目	担当	令和5年度												令和6年度			記事			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
役員会、通常総会、他	支部		5/27 役員会S 会計監査S	6/24 総会S			9/11 役員会R		11/11 役員会R	12/9 会計監査S 役員会S			2/11 役員会R	3/31 閉鎖決算S	4/13 監査S	5/25 役員会R	6/22 総会S	R;リモート会議 S;集会会議		
会員スキルアップ研修等 「強化」期間	支部 分会			6/11 盛岡地区	7/29 磐石 等の視察	8/26 飯							1/20 飯				6/22 飯			
県央広域振興圏経営懇談会 (防災提言)	支部			6/26 盛岡										未定				支部役員が県央振 興局に防災提言		
岩手県総合防災訓練	支部	4/27 打合	5/18 現地打合	6/1 現地打合	7/6 7/29 磐石HUG 経理の習熟 走行開始		9/18 神奈川 防災団体												神奈川視察数名	
NPO法人化の取組み案	支部														4/1 設立					
ホームページ開始 (入会申込、掲示板、会員連絡、 報告、活動投稿、交流他)	支部																			活動投稿等は会員 が書込。
会員相互の親睦、ネットワークの 活性化 ・ウィルスバスター必要 ・Windowsアップデート必要 ・名簿の修正と集中確認 ・送受はATCとPW	支部			6/24 説明																住所、連絡番号、 メールアドレス等 の希望者にはリス トを提供する。
会員の増強、日本防災士会との連 携	支部	本部会費 納入期限※	意向確認	正会員化	支部会費 の期限										本部会費 納入期限		正会員化			会員増強は通年。
防災士の知見、技術向上	分会																			県支部、他分会主 催行事への参加。
活動の実施、活性化の促進	分会																			盛岡、北上、富古、 大船渡は活動実績が ある。
防災活動の「通常活動」期間	分会																			分会で企画実施する こと。
防災活動の「特別強化」期間	分会																			分会で企画実施する こと。

※ 実施機関は各担当が企画し展開します。

※ 本部、支部ともに会費納入を確認してから入会申込書の受付になります。

令和 5 年度 収支予算 (案)

第4号議案

自：令和 5 年 4 月 1 日 至：令和 6 年 3 月 31 日

○ 収入の部

単位：円

項目	令和 4 年度予算額 (1)	令和 5 年度予算額 (2)	差額 (2-1)	備考
繰越金	1,269,750	1,075,138	-194,612	
年会費	710,000	710,000	0	
協賛金	0	0	0	
総会・懇親会費	0	0	0	
活動協力金	160,000	168,000	8,000	本部、東北から
各種事業参加料	0	0	0	
補助金等	0	0	0	
利息	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
雑収入			0	
合計	2,139,750	1,953,138	-186,612	

※1 支部年会費は、一般会員2,000円、準会員1,000円、賛助会員は一口5,000円以上。

※2 本部年会費の5,000円は含まず。

○ 支出の部

単位：円

項目	令和 4 年度予算額 (1)	令和 5 年度予算額 (2)	差額 (2-1)	備考
総会費	11,326	50,000	38,674	
総会・懇親会	8,805	0	-8,805	
講師謝礼	2,521	30,000	27,479	
資料印刷代	0	20,000	20,000	
広報活動	105,960	510,980	405,020	HP制作費440,000円 他維持費
通信費	69,483	89,000	19,517	
支部会報	0	0	0	
通信	69,483	89,000	19,517	
学習会・講演会	0	150,000	150,000	
消耗品	52,285	80,000	27,715	
備品費	288,239	0	-288,239	
事業費	130,164	260,000	129,836	12分会への実費額
事務局運営費	163,090	324,000	160,910	
事務局手当	0	0	0	
旅費交通費	158,100	320,000	161,900	
支払手数料	4,990	4,000	-990	
会議費	234,126	320,000	85,874	
負担金	0	0	0	
予備費	0	169,158	169,158	繰越予定額
合計	1,054,673	1,953,138	898,465	

役員の変更について【報告】

役職		令和4年度	令和5年度	区分	記事
支部長	—	清水上 裕			
副支部長	—	菊池 浩康			
	—	荒屋敷武則			
	—	—			
議員部会代表	理事（部会長）	—			
	理事	—			
盛岡地区分会	理事（分会長）	荒屋敷武則			
	理事	村上 正勝			
	理事	小笠原千永			
奥州地区分会	理事（分会長）	千葉 勇一			
	理事	三浦 和洋			
花巻地区分会	理事（分会長）	高橋 和夫			
	理事	高橋 修			
北上地区分会	理事（分会長）	高橋 利幸			
	理事	菊池 輝昌			
遠野地区分会	理事（分会長）	菊池 浩明			
	理事	道又 努			
一関地区分会	理事（分会長）	菅原 三郎			
	理事	高橋 隆			
	理事	槻山 千工			
釜石地区分会	理事（分会長）	松崎 博善			
	理事	瀬戸 元			
	理事	飛内 栄生			
宮古地区分会	理事（分会長）	武藤 元			
	理事	八木恵理子			
岩泉地区分会	理事（分会長）	佐々木英明			
	理事	佐々木久幸			
大船渡地区分会	理事（分会長）	武蔵野美和			
	理事	新沼 真弓			
久慈地区分会	理事（分会長）	佐々木基之			
	理事	松橋 勉			
二戸地区分会	理事（分会長）	鈴木 一哉			
	理事	番澤 廣円			
監 事	監事	菊池 俊文			
	監事	館澤 忠弘			
顧 問	岩手大学名誉教授	齋藤 徳美			
事務局	事務局長	山崎 正幸			
	事務局員	葛西 清志			
	事務局員	中島 勝也			
	事務局員	野田 尚樹			

※ 企画担当理事、事務局担当理事は実行面上から配置しない。

※ 議員部会は地区分会に組み入れ、理事、部会長は配置しない。（議員の理事は当面現状を維持する）

※ 役員就任資格は、本部、支部、共に個人正会員であること。

※ 役員就任条件は、地方公務員法第38条による許可を得ること。

役員改選について【報告】

役職		令和4年度	令和5年度	区分	記事
支部長	—	清水上 裕	清水上 裕		
副支部長	—	菊池 浩康	菊池 浩康		
	—	荒屋敷武則	荒屋敷武則		
	—	—	—		
議員部会代表	理事（部会長）	—	—	地区分会に編入	
	理事	—	—		
盛岡地区分会	理事（分会長）	荒屋敷武則	中村 義彦	変更	
	理事	村上 正勝	村上 正勝		
	理事	小笠原千永	—	減1	
奥州地区分会	理事（分会長）	千葉 勇一	千葉 勇一		
	理事	三浦 和洋	藤澤 一弘	変更	
花巻地区分会	理事（分会長）	高橋 和夫	高橋 和夫		
	理事	高橋 修	高橋 修		
北上地区分会	理事（分会長）	高橋 利幸	高橋 利幸		
	理事	菊池 輝昌	菊池 輝昌		
遠野地区分会	理事（分会長）	菊池 浩明	菊池 浩明		
	理事	道又 努	道又 努		
一関地区分会	理事（分会長）	菅原 三郎	菅原 三郎		
	理事	高橋 隆	高橋 隆		
	理事	槻山 千工	—	減1	
釜石地区分会	理事（分会長）	松崎 博善	松崎 博善		
	理事	瀬戸 元	瀬戸 元		
	理事	飛内 栄生	—	減1	
宮古地区分会	理事（分会長）	武藤 元	武藤 元		
	理事	八木恵理子	佐藤 憲人	変更	
岩泉地区分会	理事（分会長）	佐々木英明	佐々木 誠	変更	
	理事	佐々木久幸	千葉 遙香	変更	
大船渡地区分会	理事（分会長）	武蔵野美和	武蔵野美和		
	理事	新沼 真弓	佐藤 健	変更	
久慈地区分会	理事（分会長）	佐々木基之	佐々木基之		
	理事	松橋 勉	澤山 隆浩	変更	
二戸地区分会	理事（分会長）	鈴木 一哉	荒谷 雄幸	変更	
	理事	番澤 廣円	平船 浩幹	変更	
監 事	監事	菊池 俊文	浪岡 久雄	変更	
	監事	舘澤 忠弘	塚野 修	変更	
顧 問	岩手大学名誉教授	齋藤 徳美	齋藤 徳美	減2	
事務局	事務局長	山崎 正幸	葛西 清志	変更	
	事務局員	葛西 清志	高橋 章	変更	
	事務局員	中島 勝也	—	減1	
	事務局員	野田 尚樹	—	減1	

※ 企画担当理事、事務局担当理事は実行面上から配置しない。

※ 議員部会は地区分会に組み入れ、理事、部会長は配置しない。（議員の理事は当面現状を維持する）

※ 役員就任資格は、本部、支部、共に個人正会員であること。

※ 役員就任条件は、地方公務員法第38条による許可を得ること。

添付資料

- ・現金及び預金残高証明書 P16
- ・預金口座の残高証明書 P17～18
- ・2023年3月29日 岩手日報 基調講演の記事 . . . P19

様式1

日本防災士会 岩手県支部
支部長 清水上 裕 様

現金及び預金残高証明書

令和5年3月31日現在の現金及び預金残高は、以下の通りであることを証明する。

1. 現金残高 ¥ 0 円

2. 預金残高 ¥ 1,075,133 円

なお、証明にあたっては、現金及び預金残高証明書を確認した。

令和 5 年 5 月 27 日

監事(氏名) 館澤 忠弘

監事(氏名) 菊池 俊文

028-3603

令和 5年 4月10日

岩手県 [REDACTED] 会計
理事 小笠原 千永 様

日本防災士会 岩手県支部 様

ご請求のありました令和 5年 3月31日現在における残高は、下記のとおりであることを証明いたします。

上平沢郵便局 局長

記

【調査対象者】

名義人さま 日本防災士会 岩手県支部 様

【証明する貯金等の内容】

貯金の種類	記号番号	残高	備考
通常貯金	18360-1687491	775,138円	
以上			

- ※ 金額が訂正されたものは無効です。
- ※ この証明書につきまして、ご不明な点がございましたら、次の書類等をお近くのゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口までお持ちのうえ、お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。
 - ・ 本証明書
 - ・ ご本人さまであることを確認できる証明書類（お名前、ご住所、生年月日の入った運転免許証や健康保険証など、法人名義の場合は登記簿謄本など、団体名義の場合は規約の写しなどもあわせてお持ちください。）
- ※ 貯金の場合、残高欄には、証明日現在の残高または元金を記載しております。
- ※ 国債の場合、残高欄には、証明日現在の額面金額、備考欄には、市場価格+経過利息（個人向け国債の場合は中途換金額）を記載しております。（非営業日の場合、前営業日の市場価格等を記載しております。）
- ※ 調査結果に別名使用の振替口座が含まれている場合、「名義人さま」欄には口座名称または別名を記載しております。
- ※ 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構が管理する郵便貯金につきましては、同機構から郵便貯金管理業務の委託を受けて証明しております。

振替口座残高証明書

口座番号	02220-6-124514
------	----------------

加入者名	日本防災士会 岩手県支部
------	--------------

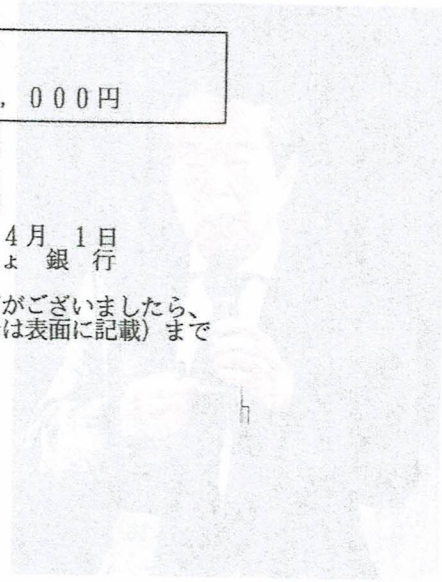
令和 5年 3月31日現在の口座残高

*****300,000円

上記のとおり証明します。

令和 5年 4月 1日
ゆうちょ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。



「最大級」へ意識高め

県が公表した最大クラス
の地震・津波被害想定では、
日本海溝沿いで地震が発生
した場合、市町村別の死者
の最多は久慈市で4400
人、中心市街地のほとんど
が浸水すると予測されてい
ます。他の市町村の住民も
万一に備え、何をなすべき
かを考えてください。

犠牲者ゼロに向けてやるべ

基調講演

きことの一つ目は避難施設
対策です。浸水想定よりも
高い場所に新設する場合は
多額の予算が必要で、適地
を確保するのも大変です。
そこで、平野部のホテルな
ど頑丈な建物を避難ビルに
指定し活用する方法があり
ます。

二つ目は浸水域にある市
町村役場など防災関連施設

齋藤徳美・岩手大名誉教授

現実的な対策が必要



基調講演する齋藤徳美名誉教授

の対応です。将来的には移
転を検討するにしても、当
面は外部のデータセンター
活用や、電気機器の高い階
への配置が現実的です。
三つ目は住民の確実な避
難です。地域や学校、職場
に防災士を配置し、行政と
連携して避難の必要性を啓
発するのも一つの方法で
す。四つ目は障害者や高齢
者対策です。平野部から津
波到達までに避難させられ
るか。大変重い課題です。
地球温暖化で豪雨災害が
激甚化していますので、盛
岡市など内陸部や山間部も
リスクが高まっています。
人類は文明の頂点に立
ち、全てをコントロールで
きているという錯覚に陥っ
ていますが、自然への畏怖
と畏敬を前提にしないと生
きていけません。
住民の皆さんはこのこと
を忘れず、大きな地震が発
生したら取る物も取りあえ
ず逃げてください。